

# 罪を覆う銀は、地上での神の権益と行動のために戦う軍隊を 編成するためである: 出エジプト記の結晶 #32

2016.4.11-17

I. 神の意図は、軍隊へと編成された人々を得て、その軍隊が霊的戦いに従事し、地上での神の権益と行動のために戦うことです:

出30:12「あなたが、数えられた者にしたがって、イスラエルの子たちの総数を数えるとき、すべての者は自分のために、贖いの代価をエホバにささげなければならない。これは、あなたが彼らを数えるとき、彼らの間に災いが臨まないためである。13 数えられて登録される者はそれぞれ、聖なる所のシケルで半シケル(一シケルは二十ゲラ、約11.4gである)、挙げるささげ物としての半シケルをエホバにささげなければならない。14 二十歳以上で、数えられて登録されたすべての者は、エホバへの挙げるささげ物をささげなければならない。

A. 霊的戦いが必要であるのは、サタンの意志が神の意志に抵抗しているからです。

マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。7:21 私に向かって『主よ、主よ』と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである。

聖書は、私たちは王国のために悔い改めなければならないと言っています。神の王国とは実は、神の意志の行使です。罪人は神の王国のために悔い改めるとき、サタンの側から神の側へ、すなわち神の王国へ、神のみこころ(意志)へ立ち返ります。人はサタンの意志から神の意志へ立ち返った後、主イエスを信じ、バプテスマされなければなりません。バプテスマを通して、人は暗やみの権威、サタンの意志から連れ出されて、神の愛する御子の王国に移されます。

私たちは真理にしたがって、恵みによって歩き、愛と光の中で生き、戦ってサタンの意志を征服します。私たちの歩みは神の定められた御旨を成就するためであり、私たちの生活はキリストの満足のためであり、私たちの戦いは神の敵を打ち破るためです。

B. 霊的戦いの目的は、神の王国をもたらすことです。

啓12:10「今、私たちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。私たちの兄弟たちを訴える者、昼も夜も私たちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。

C. 神には多くの敵がいます。どこにおいても神は歓迎されません:

1. これらすべての敵のゆえに、神には地上で行動する自由がありません。神は戦って、敵を滅ぼさなければなりません。
2. エペソ第6章10節から18節によれば、召会は戦士であり、神の敵と戦わなければなりません。

エペソ6:10 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。11 神のすべての武器を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。

II. 香壇と罪を覆う銀との間の関係の霊的意義は、香壇において私たちは、地上での神の行動のために戦う軍隊の編成のために祈るということです(出30:1-16):

出30:1 あなたはまた、香をたく祭壇を作らなければならない。それをアカシア材で作らなければならない。  
2 …香壇の一部として角がなければならない。

15 あなたがたがエホバへの挙げるささげ物をささげて、自分の魂のために罪を覆うとき、富んだ者も半シケルより多くささげてはならず、貧しい者もそれより少なくささげてはならない。

16 あなたはイスラエルの子たちから罪を覆う銀を受け取って、それを集会の天幕の奉仕のためにささげなければならない。それは、エホバの御前でイスラエルの子たちへの記念となって、あなたがたの魂のために罪のおおいとする」。

A. 幕屋が表徴しているのは、地上での神の行動のために、神が彼の選ばれた民の中に具体化されているということです。幕屋と、幕屋に関するあらゆることは、神の行動のためです(25:8-9):

1. 香壇での祈りは、神の行動のためです。神の行動に反対するすべての敵のゆえに、神は戦うことによって行動します。

民10:35 契約の箱が出立するとき、モーセはこう言った、「エホバよ、立ち上がって、あなたの敵を散らしてください。またあなたを憎む者が、あなたの御前から逃げ去るようにしてください」。

2. 特に、神の民が祈る必要があるのは、軍隊を編成して、地上での神の行動のために戦い、神の定められた御旨を完成するためです。

エペソ6:12 というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。

私たちは香壇で祈る必要があります。しかしながら、私たちは自分自身や自分の権益のために祈るのではなく、神の行動と神の権益のために祈るべきです。神の行動と神の権益のための祈りはとりなしの祈りです。

3. このとりなしの祈りの結果は、神の民を数えて、軍隊を編成し、神の行動に反対する神の敵と戦うこと、すなわち、良き地の住民によって予表される天上の支配たちや権威たちと戦うことです。

4. 神はそのような軍隊を持つとき、彼の権益のために地上で行動することができます。

B. 軍隊にいる資格のある男子の年齢についての霊的意義は、もし私たちが軍隊にいて神の行動のために戦おうとするなら、私たちは円熟する必要があるということです:

ヘブル5:14 しかし、成人した者たちのためには、固い食物があります。彼らの機能は、習慣的に訓練されて、善悪を識別することができるのです。

1. 二十歳以上のあらゆる男子が支払うべき半シケルの銀が表徴するのは、霊的戦いを戦うために命の円熟が必要であるということです。
  - a. 私たちは軍隊にいて神の行動のために戦うために、霊の中で強くなり、成長して、霊的な年齢が二十歳に達する必要があります。  
**エペソ4:15** むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。
  - b. 造り変えられるとは、私たちの天然の命において変えられることです。円熟するとは、私たちを変える神聖な命で満たされることです。  
**ヘブル6:1** こういうわけで、キリストの初歩的な言を後にして、再び基礎を据えることをしないで、円熟にもたらされようではありませんか。その基礎とは、死んだわざの悔い改めと神にある信仰、
  - c. 神は主権をもって、人、事、物を用いて、私たちを満たしていたあらゆるものを取り除いて私たちを空にし、占有しているあらゆるものを除き去ります。それは、私たちの度量を増し加えて、彼で満たすためです。**ローマ8:28** また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。**29** なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。
2. 今日の主の回復において、円熟するという切迫した必要があります。私たちのさらに多くの人々が、成長し、円熟へと到達し、それによって軍隊へと編成される資格を持つようになる緊急の必要があります。  
**ピリピ3:15** こういうわけで、成人した者はみな、この思いを持つようではありませんか。また、もしあなたがたが別のことを思っているなら、神はこれをも、あなたがたに啓示してください。
3. 香壇でささげられるとりなしは、信者たちの成長と円熟のためであり、それによって軍隊が編成されることができます。  
**エペソ4:13** ついに私たちすべては、その信仰の一に、また神の御子を知る全き知識の一に到達し、一人の完全に成長した人に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達するのです。
4. 私たちは香壇で祈れば祈るほど、円熟の必要が切迫したものであることをますます認識するようになり、また、命において成長して円熟するために祈ることの緊急性はますます大きくなります。  
**Iコリント2:6** しかし私たちは、成人した者たちの間では知恵を語ります。しかもそれは、この時代の知恵ではなく、また無に帰せられていくこの時代の支配者たちの知恵でもありません。**16:13** 目を覚ましていなさい。その信仰にしっかりと立ちなさい。完全に成長した人になりなさい。強くありなさい。
5. そのような軍隊が編成されてはじめて、神はご自身の定められた御旨のために地上で行動することができますようになります。円熟した者たちから編成された軍隊がなければ、神は行動することができません。

C. 罪を覆う銀の予表によれば、私たちはキリストによって戦いますが、そのキリストは昇天したキリスト、天上のキリストです：

エペソ1:20 神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、21 すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました。22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

1. 挙げるささげ物としての半シケルが予表するのは、神の民が経験し、また彼らが罪を覆う銀として支払った昇天したキリストです。出30:13 数えられて登録される者はそれぞれ、聖なる所のシケルで半シケル(一シケルは二十ゲラである)、挙げるささげ物としての半シケルをエホバにささげなければならない。

挙げるささげ物は、揺り動かすささげ物よりさらに進んだものです。すなわち、昇天したキリストは復活したキリストよりさらに進んだものです。昇天においてキリストは彼の敵を打ち破ります。

半シケルの意義は何でしょうか？…それは肉体と成ったキリスト、十字架につけられたキリスト、復活したキリストをさえ予表しません。挙げるささげ物としての罪を覆う銀は、昇天したキリストの予表です。

私たちはそのようなキリストを経験して、半シケルとしての彼を持つ必要があります。言い換えれば、半シケルの銀は、私たちが経験し、私たちが人頭税として払った昇天したキリストを表徴します。

私たちは集会にいるとき、天上にいる必要があります。そうでないと、私たちは機能することができません。私たちは天上でキリストと共にいないときはいつも、集会で機能することはできません。私たちは正しく機能するとき、真に昇天したキリストの中にいます。

2. 霊的戦いを戦うために、私たちのキリストの経験は、最高点に到達しなければなりません。すなわち、私たちが彼と共に天上で座っており、自分自身においてではなく昇天したキリストの中で戦っているという点に到達しなければなりません。

III. 私たちは神の建造と神の行動のために、キリストを、罪を覆う銀として経験する必要があります：

A. 香壇での祈りの結果は、イスラエルの子たちを数えて、軍隊を編成し、この地上での神の権益のために戦うということです：民1:45 こうして、すべて父祖の家ごとにイスラエルの子たちの数えられた者、すなわち、二十歳以上で、すべてイスラエルで兵役に就くことができる者、46 その数えられた者の総数は、六十万三千五百五十人であった。

1. 召会が神の豊満、神の表現になるために、召会は戦士であって、霊的戦いに従事しなければなりません。創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。

そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。

2. 香壇での祈りの結果として、主は召会の聖徒たちに対して「軍事人口調査」を行ないます。数えられた者たちは、地上での神の行動のために戦いに出て行く資格があります。

**民2:32** これらが父祖の家ごとにイスラエルの子たちの数えられた者である。その部隊ごとに営所にいる数えられた者の総数は、六十万三千五百五十人であった。**4:23** 三十歳から五十歳までの者で、入って行って奉仕をし、集会の天幕で働きをする者すべてを数えなければならない。

**Ⅱテモテ2:3** キリスト・イエスの良い兵士として、私と苦難を共にしなさい。

B. 過越の小羊は、完全に、また絶対に贖いのためであり、すべての民が用いることができました。しかし、罪を覆う銀は、神の軍隊へと編成される資格のある者たちだけに適用されました：

過越の小羊と罪を覆う銀との間に重要な違いがあります。過越の小羊は、完全に、また絶対に贖いのためであり、すべての民が用いることができました。しかし贖いの代価の銀は、贖いと関係があり、神の軍隊へと編成される資格のある者たちに適用されました。仮に、神の選ばれた民のある者が二十歳未満で、贖いの代価の銀の半シケルを納めたかったとします。彼らは適齢以下で、まだ十分に円熟していなかったため、贖いの代価の銀を払う資格がありません。しかしながら、年齢は、過越の小羊を通して完成された贖いにおける要因ではありませんでした。イスラエルの子たちはすべて、年齢にかかわらず、小羊によって贖われる資格がありました。新生児でさえ、贖われる資格がありました。小羊の贖いと贖いの代価の銀のための資格における違いの事柄は、何人かの聖書を教える者たちに見過ごされてきました。

1. 私たちの天然の人は神の軍隊へと召集される資格はないので、私たちは代価を払って、罪を覆う銀によって表徴される私たちの贖いとしてのキリストを経験しなければなりません。

**Ⅰコリント1:30** しかし、あなたがたがキリスト・イエスの中にあるのは、神によるのです。このキリスト・イエスは、神から私たちに与えられた知恵、すなわち、義と聖別と贖いとなりました。

2. 贖いの意味は、私たちが神へと戻されること、私たちの天然の人が神によって終結させられること、私たちがキリストをもって再構成されることです。

私たちの日ごとの義としてのキリストは、私たちを聖別し分離した人とならせます。もはや私たちは俗ではありません。そうではなく、私たちは他の人から分離されています。ですから、私たちの日常生活で、キリストは私たちの義であるだけでなく、私たちの聖別でもあるべきです。私たちは聖別され、神へと分離されるとき、贖われます。これは、私たちが神に戻されることを意味します。夫と妻がけんかをする時はいつも、主から運び去られます。しかし、キリストが彼らに義と聖別となる時、自然に彼らは神に戻されます。これが贖いです。贖いは終結、置き換え、神へと戻されることを含みます。ですから、贖いは実は造り変えです。

C. 神の建造と神の行動のための罪を覆う銀は、挙げるささげ物と呼ばれ、昇天したキリストを表徴しており、それは戦いに行くことのできる者たちが支払った代価です：

1. 挙げるささげ物は、復活し昇天したキリスト、すなわち、天上のキリストを表徴します。

**エペソ1:19** また神の力強い大能の活動にしたがって、信じる私たちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように。

2. 挙げるささげ物としての半シケルの銀をささげたことは、神によって、幕屋の建造のために用いられました：

a. 幕屋全体が置かれた百個の銀の台座が表徴するのは、召会が、私たちの経験した昇天のキリストの上にあるということです。**出38:27** 聖なる所の台座と垂れ幕の台座を鑄て作るための銀は、百タラントであった。すなわち、百の台座に百タラント、一つの台座に一タラントであった。

b. 柱の銀の柱頭、銀の鉤(かぎ)、結び付ける桁(けた)が表徴するのは、私たちの経験した昇天のキリストが、召会の栄光、強さ、結合させる力であるということです。**出38:28** また、彼は千七百七十五シケルで柱の鉤を作り、その柱頭を包み、それらを結び付ける桁を作った。

罪を覆う銀なしに、神の住まいは建造されることができませんでした。さらに、罪を覆う銀なしに、神の住まいが移動する道はありませんでした。罪を覆う銀は柱の台座、柱頭、鉤、桁のための材料を用意しました。罪を覆う銀はまた、徴兵されて軍隊を編成し、地上での神の行動のために戦う二十歳以上の男子を数えることと関係がありました。

3. 挙げるささげ物としての半シケルの銀をささげたことは、神によって用いられて、軍隊の編成を完成しました：

a. 罪を覆う銀が、昇天におけるキリストを表徴する挙げるささげ物であったという事実によって示されているように、昇天の地位を保つ者だけが、超越した昇天の地位から、空中の敵と戦うことができます。

**エペソ2:6** キリスト・イエスの中で、私たちが彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。

b. 地上における神の行動のために、私たちは軍隊へと編成されて、昇天における尊いキリストによって、からだの中で、霊的戦いを戦う必要があります。

霊的戦いに従事することができるただ一種類の人がいるだけです。それは救いを受け入れ、死から復活し、今、天上でキリストと共に座している人です。ただこの種類の人だけが、天上での超越した地位から空中の敵を攻撃することができるのです。

私たちは言うべきです、「私は自分だけで決して神の軍隊の中で戦いに行きません。私はただキリストの中で、キリストによって行きます。私はキリストを私の半シケルとして、私の贖いの代価の銀として持っています。彼は尊く価値があります」。私たちは神の軍隊の中で戦おうとするなら、ただこの尊いキリストによって戦わなければなりません。

## 経験:ビジネス・ライフ編

- ① ソフトバンクCEOは、ビジネスは格闘であると言っています。また、聖書はクリスチャン生活と召会生活は格闘であると言っています。ソフトバンクCEOは金儲けと名誉のために格闘していますが、私たちは神のエコミーのためにサタンに敵対して、霊的戦いを戦っています。
- ② クリスチャン生活と召会生活は、享受の生活であると同時に戦いの生活です。一般的に信者は、享受については喜びますが、戦いについてはできるだけ避けたいとか、大変そうなので戦いたくないとか考えます。しかし、戦わない信者は、敗北するしかありません。戦わなければ、サタンに捕らえられて、苦しい奴隷状態を強いられることとなります。クリスチャンにとって、戦わないオプションは実際にはありません。またそれは、世の中でのビジネス・ライフについても同じです。
- ③ 霊的戦いについて、次の御言葉を読んでください:  
**エペソ6:10** 最後に、主の中で、また彼の力強い大能の中で力づけられなさい。**12** というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。**13** こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが邪悪な日にあって抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。**17** その霊である神の言葉を、**18** すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。
- ④ 霊的戦いのために、私たちは香壇での祈り、神のエコミーの前進のためのとりなしの祈りをすべきです。以下のメッセージの抜粋を読んでください:  
私たちは香壇での祈り、とりなしは神の行動のためであること、神の行動は神の権益のために戦うことができる軍隊を必要とすることを見ました。これによって私たちは、香壇(出30:1-10)と軍隊の編成のための罪を覆う銀(出30:11-16)との関係を理解することができます。私たちは、なぜ罪を覆う銀が香壇の記述のすぐ後に述べられているかを理解することができます。香壇での祈りの結果は、イスラエルの子たちを数えて、軍隊を編成し、この地上での神の権益のために戦うということです。
- ⑤ 実際的なビジネス・ライフにおいて、あなたは主の中で、またキリストのからだの生活の中で、戦う霊を保持し、しっかりと立つ必要があります。そうでないと、サタンの罪の誘惑に陥ったり、サタンの策略にはまって大混乱の状況に落とし入れられてしまいます。例えば、残業ばかりする生活を強いられて、召会生活ができない、経済的な必要の心配事のゆえに心が主に対して覆われてしまう、人間関係を心配しすぎて付き合いの飲み会に頻繁に参加してしまふ、罪の快樂の誘惑に陥ってしまう、などがあります。神の御心は、あなたが個人的にも団体的にもキリストを大きく表現し、神の権威を代行して、すべてのことを支配することです。しかし、あなたが目を覚まして戦わなければ、環境や状況を支配するのではなく、支配されてしまいます。あなたは支配することができることを知って、信仰を持って戦い、主の証しを前進させてください。アーメン。

642 靈的な戦い—神の武具を着ける

1. イエスの名にかたく立ち、主の勝利しんじる；  
自己や才のうによらず、血氣の武具もちいず；  
かみの武器を身に着け、しん仰のたてを取り、  
てきの投げやりを消し、靈のつるぎ受ける。
2. 見よ、てきはけっ集する、なが持ち場まもれ！  
やみのなか、てきせまる、主によりてい抗せよ！  
なれがしりぞくならば、ぜん軍はどう揺する；  
兄だいたちのころをなれゆえくじくな。
3. ときはみじかいと知り、サタンいかりくるう、  
たたかひのまえでさえ、なが靈をくるしめる。  
誘わく、試れん、苦なんは、ますますおおくなり、  
よみのちから攻め寄せ、おそろしさは増す。
4. このようなじょうけいに、いかに振る舞うや？  
あん易、安らくもとめて、てきに食われるのか？  
苦難の増すことにより、さらにゆう気出すか？  
生きるも、死ぬるもただ、主のほまれのため！
5. 主のためにかたく立て；主イエスはしょう利者！  
苦つう、なお耐えしのべ、かの日にいたるまで。  
間もなくイエスは来たり、たたかい、しゅうけつす；  
いま、主のため苦難受け、かの日、権威受ける。

887 3. The devil knows his time is short,  
He is the more enraged,  
And by his wiles would weaken us  
Before the battle's waged.  
The trials now more numerous are,  
The suff'ring e'en more sore,  
The force of hell opposing us  
More dreadful than before.

642C 屬靈的争戦—穿上神的軍装

1. 當奉耶穌這名站住，信祂得勝站住；  
不靠自己力量站住，不靠才能站住；  
不要使用血氣兵器，只用聖靈寶劍；  
穿上神的軍裝服役，滅盡仇敵火箭。
2. 看哪，仇敵正在聚集，故當守你地場！  
四面黑暗，爭戰緊急，故當靠主抵擋！  
你若退後，怕仇敵兇，一人牽動全軍；  
請你不要使你弟兄，因你緣故受窘。
3. 撒但已知其時不久，所以其氣忿忿，  
要在爭戰尚未起首，就使你靈鬱悶。  
誘惑、試探比前更多，苦難比前更大，  
陰府權勢攻逼你我，比前更為可怕。
4. 對此情形，我們當有何種態度纔可？  
我們可否因貪優遊，便讓仇敵宰割？  
或者因著苦難加倍，更加忍耐、奮勇？  
生死關頭在此定規！誰要得主稱榮？
5. 因此，你當為主站住；耶穌是得勝者！  
你當忍受一切痛苦，直到那日方捨。  
耶穌不久快要再臨，戰事不久要停；  
你今為主受難、受驚，那日必得權柄。

4. What should our posture be today  
In such a desperate hour?  
Should we our ease and pleasure seek  
And let the foe devour?  
Or with increasing conflict strong,  
Courageous to endure?  
'Tis here that life or death is won!  
Who will God's praise secure?